

公共交通の利用状況

1 東浦町の公共交通

町内を運行している公共交通の路線名、経路などを概略的にまとめたものが図1の概略路線図になる。「う・ら・ら」の他に以下の公共交通が運行している。

- ① 鉄道…………… 2路線（町内に鉄道駅があるのはJR武豊線のみ）
 - ② 知多バス（路線バス）…………… 2路線（「大府線」は、「大府循環線」を含む）
 - ③ 知多バス（空港バス）…………… 1路線
 - ④ タクシー…………… 6事業者（知多交通圏）



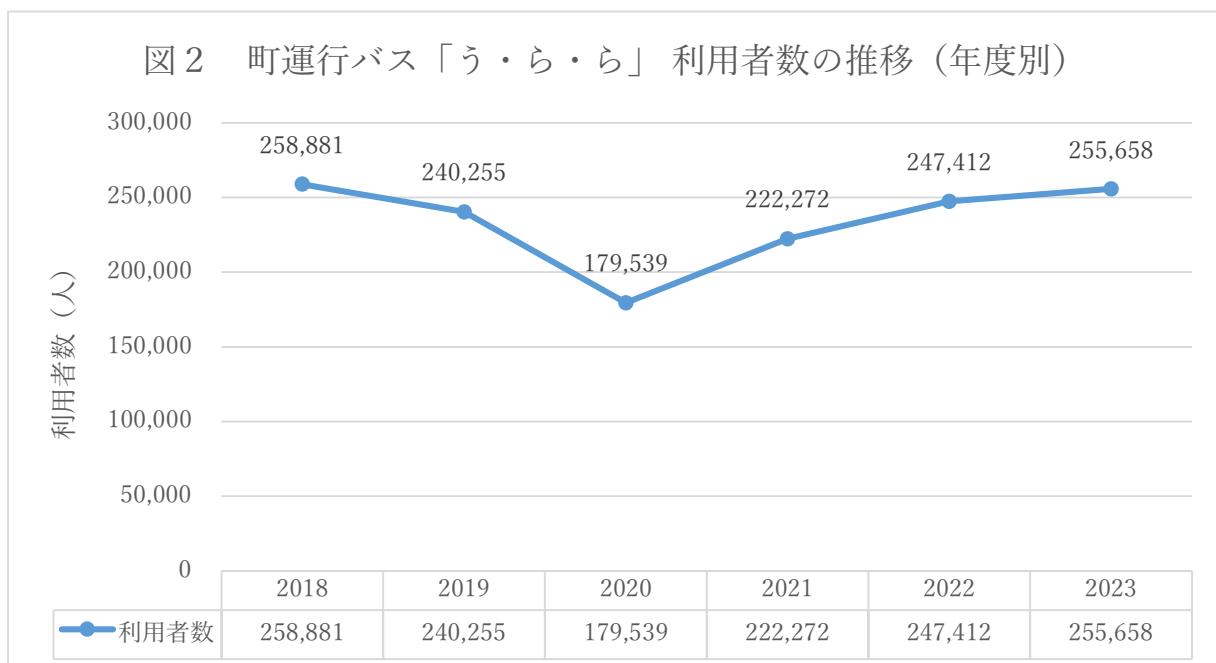
2 町運行バス「う・ら・ら」

■町内移動を主に、刈谷市・大府市・知多市・阿久比町への移動ができ、一定量以上の移動需要に対応

町内の買い物、通院、小学校の通学の足としての役割を担っている。2018年度から2023年度までの「う・ら・ら」の利用者数の年度別推移は図2のとおりである。

- ① 図2から、2023年度の全路線の利用者数の計は255,658人、コロナ禍以前の2018年度の利用者数は258,881人であり、利用者数で比較すると、**3,223人の減（2%減）**となっていることが分かる。
- ② 図2から、2023年度の全路線の利用者数の計は255,658人、2022年度の利用者数は247,412人であり、利用者数で比較すると、**8,246人の増（3%増）**となっていることが分かる。

以上のことから、利用者数は、徐々にコロナ禍以前の水準まで回復してきており、**徐々にコロナ禍以前の生活様式に戻りつつある**と考えられる。



【補足 1】

- ① 2023 年度の支払い委託料は 119,700,341 円、収支率は 12.5%、**住民 1 人あたりの負担額は 2,383 円/年（199 円/月）** になる。
- ② 各路線の利用者数の推移及び考察は以下のとおりである。
- ・環状線（左回り）

	2019	2020	2021	2022	2023
利用者数	37,714	62,033	70,458	76,119	78,824

コロナ禍による生活様式の変化により 2019 年度の利用者数は大きく落ち込んだものの、その後は増加傾向に転じ、以降継続している。コロナ禍の落ち着きとともに外出機会が増加したところに、「う・ら・ら」の存在や利用方法等が浸透した等、周知・利用促進策等が一定の効果を上げたものと推測される。

- ・環状線（右回り）

	2019	2020	2021	2022	2023
利用者数	29,689	46,638	61,081	63,944	62,740

コロナ禍による生活様式の変化により 2019 年度の利用者数は大きく落ち込んだものの、その後は増加傾向に転じており、特に 2023 年度は 2020 年度に比して 1 万人以上の増加となっている。この原因是「う・ら・ら」の周知・利用促進策等が一定の効果を上げたものなどが考えられる。

- ・長寿線

	2018	2019	2020	2021	2022	2023
利用者数	42,892	42,655	33,845	42,345	49,123	51,848

利用者数は 2021 年度から増加しており、2021 年 2 月のダイヤ改正からイオンモール東浦が運行経路に入り、新規の利用者が増加したためだと考えられる。

- ・刈谷線

	2018	2019	2020	2021	2022	2023
利用者数	20,962	24,938	22,124	25,514	29,405	32,300

イオンモール東浦への需要等、潜在需要があったところに、2019 年 10 月のダイヤ改正での増便（10 便⇒18 便）による利便性向上により、東浦町・刈谷市双方の利用者に利用が定着したことが主要因と考えられる。

・東浦高校線（於大公園南経由）

	2019	2020	2021	2022	2023
利用者数	6,740	11,928	18,346	22,531	22,942

2021年2月のダイヤ改正で3便から5便に増便したことによって、利用者数が増加傾向にあったと考えられる。

・東浦高校線（文化センター経由）

	2019	2020	2021	2022	2023
利用者数	5,885	8,536	9,471	11,519	12,497

2021年2月のダイヤ改正で4便から5便に増便したことによって、利用者数が増加傾向にあったと考えられる。

・長寿医療研究センター直行便

	2019	2020	2021	2022	2023
利用者数	365	528	550	828	892

利用者数は増加しているが、期待した数とはならなかった（地域公共交通計画では、2026年度で利用者数1,200人を目標としている）。その原因として、本便の利用用途が早朝の通院・通学に限られており、その限られた時間帯に目標を達成するだけの需要がなかったためだと考えられる。

3 鉄道「JR 武豊線」

■他都市との広域移動、町内移動ができ、大量の移動需要に対応

東部にJR武豊線、西部の町境付近に名鉄河和線が南北に通っている。2018年度から2023年度までの鉄道「JR武豊線」町内各駅の乗車人数の推移は図3のとおりである。また、乗車人数のうち定期券利用者の推移は図4のとおりである。

(1) JR武豊線の乗車人数の比較

- ① 図3から、2023年度の武豊線各駅の乗車人数の計は1,938,171人、コロナ禍以前の2018年度の乗車人数の計は1,963,592人であることが分かる。**2023年度と2018年度の乗車人数の計とで比較すると25,421人の減（1%減）**となっている。
- ② 図3から、2023年度の武豊線各駅の乗車人数の計は1,938,171人、2022年度の乗車人数の計は1,820,705人であることが分かる。**2023年度と2022年度の乗車人数の計とで比較すると117,466人の増（6%増）**となっている。

(2) JR武豊線の乗車人数（うち定期）の比較

- ① 図3及び図4から、**JR武豊線の町内各駅の乗客は約7割が定期券利用者**であることが分かる。
- ② 図4から、2023年度の武豊線各駅の乗車人数（うち定期）の計は1,392,958人、コロナ禍以前の2018年度の乗車人数の計は1,461,012人であることが分かる。**2023年度と2018年度の乗車人数の計とで比較すると68,054人の減（5%減）**となっていることが分かる。
- ③ 図4から、2023年度の武豊線各駅の乗車人数（うち定期）の計は1,392,958人、2022年度の乗車人数の計は1,331,303人であることが分かる。**2023年度と2022年度の乗車人数の計とで比較すると61,655人の増（4%増）**となっていることが分かる。

以上のことから、この乗車人数の減少は、コロナ禍の影響を受け、リモートワークやオンライン授業が推進されたことや、**定期券利用者が減少したことが主な要因**だと考えられる。また、コロナ禍以降乗車人数が増加傾向にあるが、コロナ禍以前の乗車人数にまだ及ばないのは、コロナ禍以降のリモートワークの継続によるものと考えられる。

図3 JR武豊線各駅 乗車人数の推移（年度別）

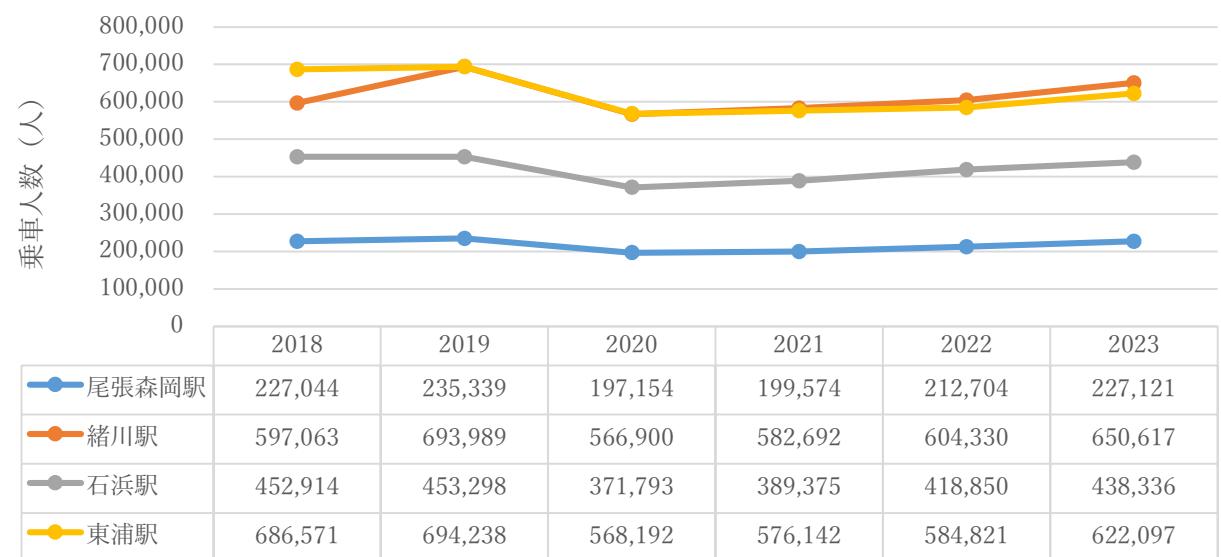
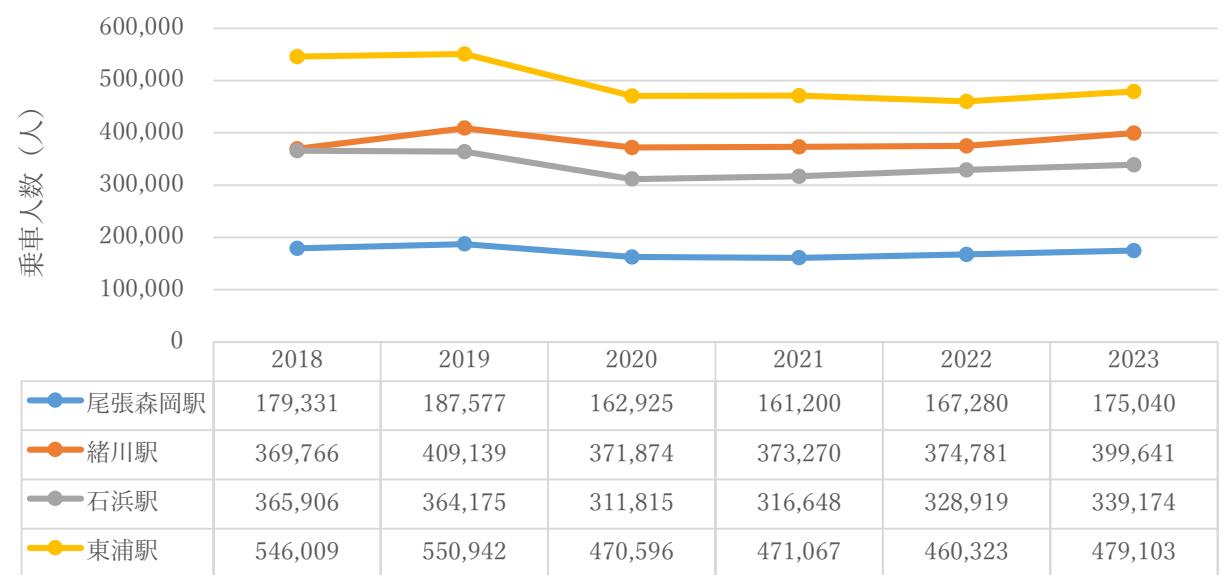


図4 JR武豊線各駅 乗車人数の推移（うち定期）



4 民間バス「路線バス」

■近隣市への移動、町内移動ができ、一定量以上の移動需要に対応

知多バス「大府線」は、森岡日生団地とJR大府駅を結び、知多バス「東ヶ丘団地線」は、東ヶ丘団地から名鉄翼ヶ丘駅を結び、それぞれ通勤・通学の足を担っている。2018年度から2023年度までの知多バス「大府線」及び「東ヶ丘団地線」の利用者数の推移は図5のとおりである。

(1) 知多バス「大府線」の利用者数比較

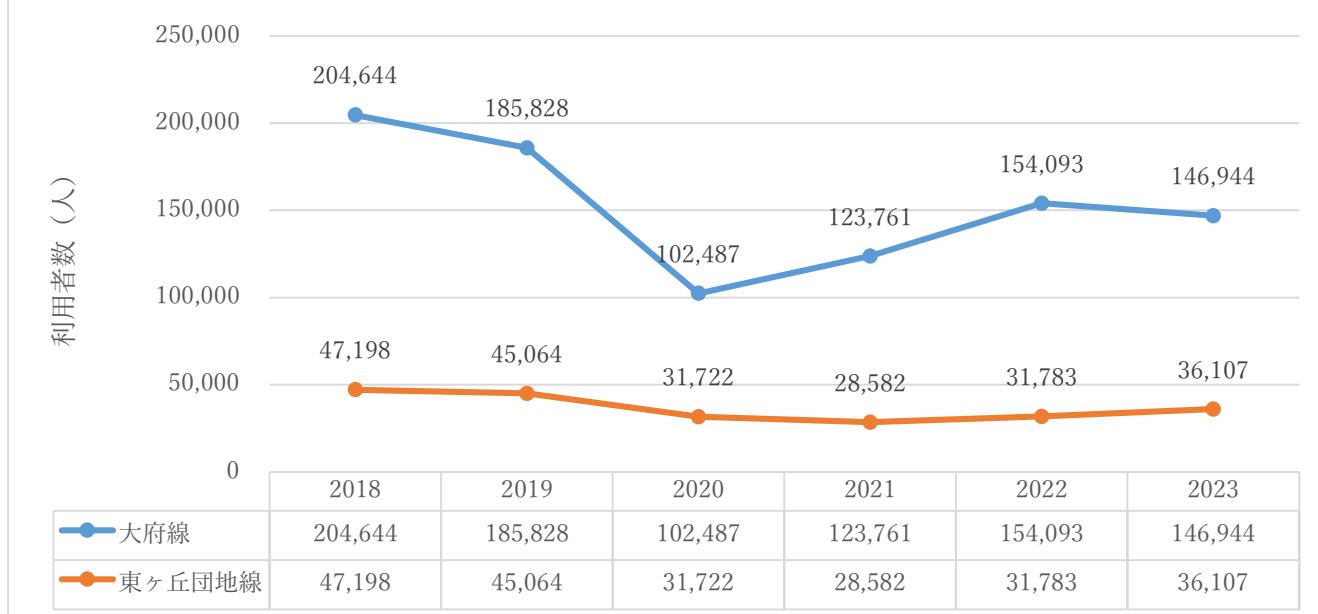
- ① 図5から、2023年度の大府線の利用者数は146,944人、コロナ禍以前の2018年度の利用者数は204,644人であることが分かる。
- ② 図5から、**2023年度と2018年度の大府線の利用者数で比較すると57,700人の減(28%減)**となっていることが分かる。

(2) 知多バス「東ヶ丘団地線」の利用者数比較

- ① 図5から、2023年度の東ヶ丘団地線の利用者数は36,107人、コロナ禍以前の2018年度の利用者数は47,198人であることが分かる。
- ② 図5から、**2023年度と2018年度の東ヶ丘団地線の利用者数で比較すると11,091人の減(23%減)**となっていることが分かる。

以上のことから、両路線の利用者数の減少は、コロナ禍の影響を受け、リモートワークやオンライン授業が推進されたことや、集合団地の高齢化によって**通勤・通学利用者が大きく減少したことが主な要因**だと考えられる。

図5 知多バス「大府線」「東ヶ丘団地線」利用者数の推移
(年度別)



5 民間バス「空港バス」

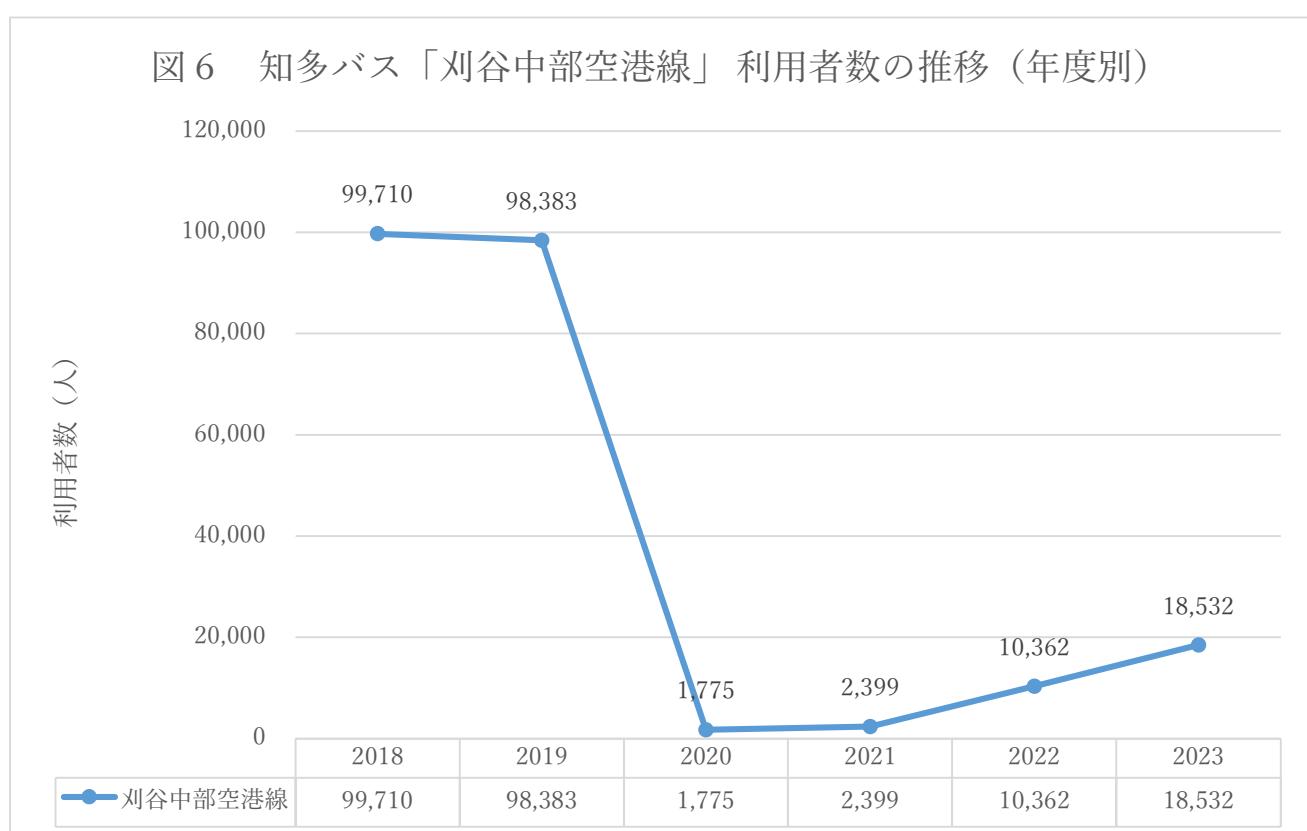
■緒川駅から空港や近隣市（知立駅前・刈谷駅前・東陽町（刈谷市）・刈谷市駅口）までの区間利用が可能で、一定量以上の移動需要に対応

知立駅から刈谷駅や緒川駅を経由し、中部国際空港まで運行しています。2018年度から2023年度までの知多バス「刈谷中部空港線」の利用者数の推移は図6のとおりである。

- ① 図6から、2023年度の刈谷中部空港線の利用者数18,532人、コロナ禍以前の2018年度の利用者数は99,710人であることが分かる。
- ② 図6から、**2023年度と2018年度の刈谷中部空港線の利用者数で比較すると81,178人の減（81%減）**となっていることが分かる。

この利用者数の減少は、コロナ禍の影響を受け、**運行便数を減便（2018年度：1日当たり上り13便・下り14便、2023年度：1日当たり上り6便・下り7便）**したことが主な原因だと考えられる。

図6 知多バス「刈谷中部空港線」利用者数の推移（年度別）



6 タクシー

■鉄道・バスでは難しい少量の移動需要に対応

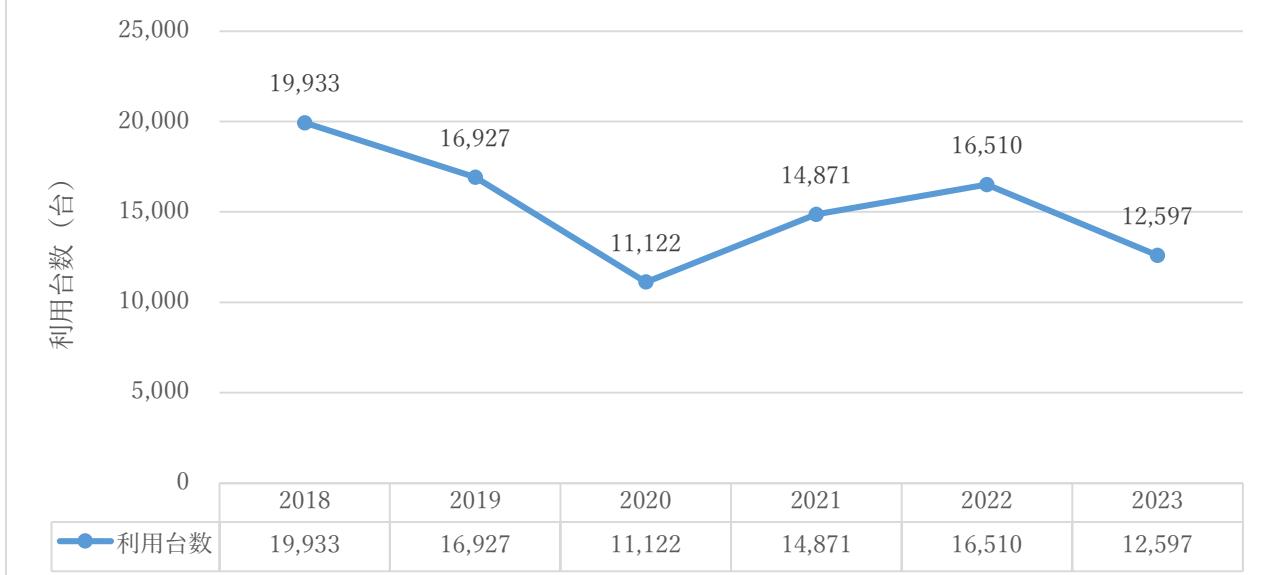
鉄道やバスでは運行できない箇所まで、きめ細かなサービスを提供することが可能である。知多交通圏を営業エリアにするタクシー会社は6社。そのうち、町内JR駅に待合所があるのは3社である（安全タクシー株、名鉄知多タクシー株、大興タクシー株）。

2018年度から2023年度までのタクシー事業者（安全タクシー株、大興タクシー株、名鉄知多タクシー株）の利用台数の年度別の推移は図7のとおりである。なお、2019年度から2023年度までの利用台数の月別の推移は図8のとおりである。

- ① 図7から、2023年度のタクシーの利用台数は12,597台、コロナ禍以前の2018年度の利用台数は19,933台であることが分かる。
- ② 図7から、**2023年度と2018年度の利用台数とで比較すると7,336台の減（37%減）**となっていることが分かる。

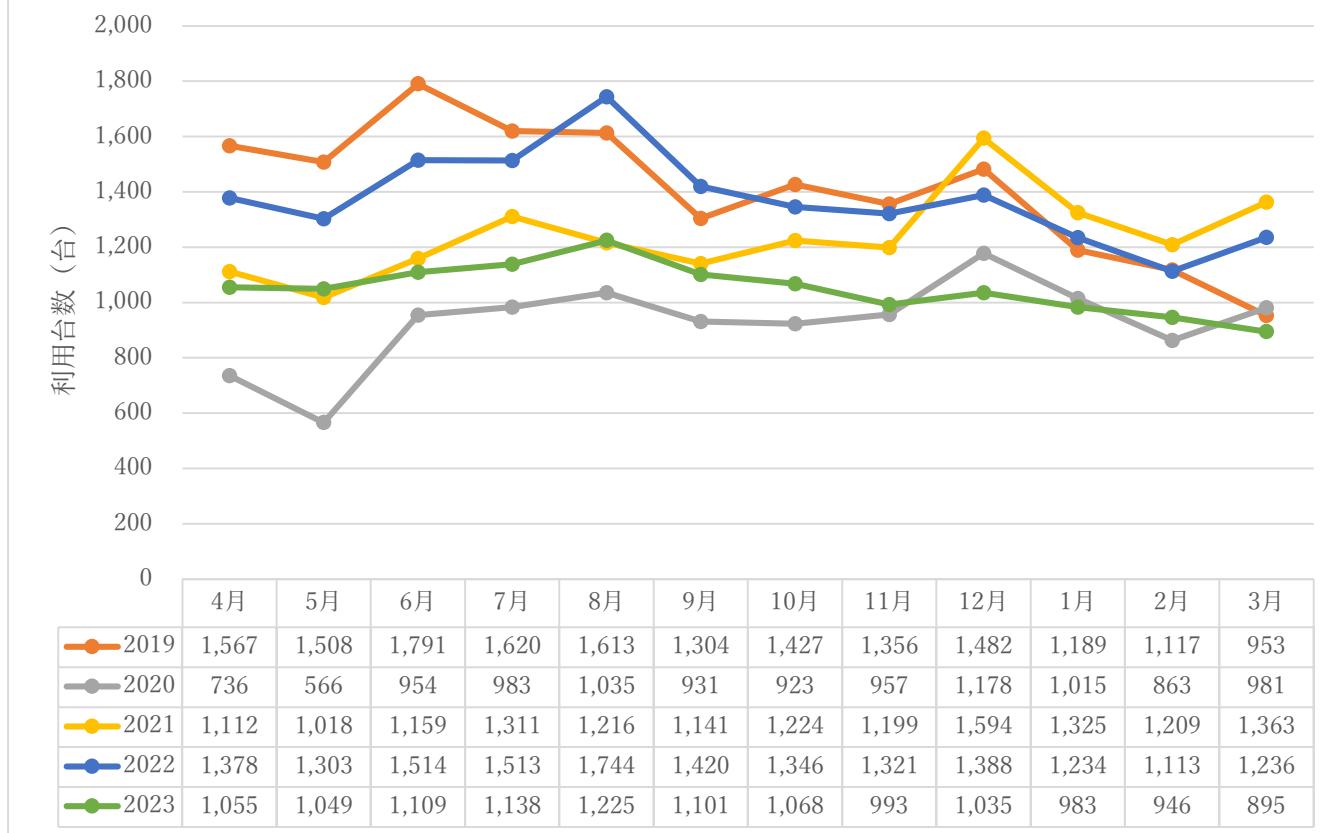
この利用台数の減少は、**コロナ禍以前から続いている乗務員不足による稼働率の低下やコロナ禍以降から続く出張・深夜営業時間の需要の低下が原因**だと考えられる。

図7 タクシー利用台数の推移（年度別）



※利用台数は東浦町発の車両のみを集計している。

図8 タクシー利用台数の推移（月別）



※利用台数は東浦町発の車両のみを集計している。

7 まとめ

町運行バス「う・ら・ら」や鉄道等の公共交通の利用者数の推移をまとめたものが表1である。

表1から、2023年度とコロナ禍以前の2018年度の利用者数を比較した場合、**減少割合が最も小さいのがJR武豊線及び町運行バス「う・ら・ら」の2%減、最も大きいのが知多バスの43%減**であった。

コロナ禍の影響を受けて、生活様式が変化し、移動需要が減少しているためか、公共交通の利用者数は依然としてコロナ禍以前の数値を下回っている。特に知多バス及びタクシーは便数の減少や稼働率の低下により、利用者数はコロナ禍以前の数値を大きく下回っている。今後も利用者数の推移を注意深く分析するとともに、公共交通の乗り方教室等の周知事業、回数券の共通利用等の利便性を向上させる施策、外出プランの提案などおでかけの楽しさを再発見していただけるような企画を検討・実施し、**公共交通の利用促進に努めたい**。

表1 公共交通の利用者数・利用台数の推移

		利用者数・利用台数（年度別）						コロナ禍以前との比較		前年度比	
		2018	2019	2020	2021	2022	2023	2023-2018	2023/2018	2023-2022	2023/2022
JR 武 豊 線	尾張森岡駅	227,044	235,339	197,154	199,574	212,704	227,121	77	100%	14,417	106%
	緒川駅	597,063	693,989	566,900	582,692	604,330	650,617	53,554	108%	46,287	107%
	石浜駅	452,914	453,298	371,773	389,375	418,850	438,336	△ 14,578	96%	19,486	104%
	東浦駅	686,571	694,238	568,192	576,142	584,821	622,097	△ 64,474	90%	37,276	106%
	計	1,963,592	2,076,864	1,704,019	1,747,783	1,820,705	1,938,171	△ 25,421	98%	117,466	106%
知 多 バ ス	大府線	204,644	185,828	102,487	123,761	154,093	146,944	△ 57,700	71%	△ 7,149	95%
	東ヶ丘団地線	47,198	45,064	31,722	28,582	31,783	36,107	△ 11,091	76%	4,324	113%
	刈谷中部空港線	99,710	98,383	1,775	2,399	10,362	18,532	△ 81,178	18%	8,170	178%
	計	351,552	329,275	135,984	154,742	196,238	201,583	△ 149,969	57%	5,345	102%
タクシー		19,933	16,927	11,122	14,871	16,510	12,597	△ 7,336	63%	-3,913	76%
う ・ ら ・ ら	長寿線	42,892	42,655	33,845	42,345	49,123	51,848	8,956	120%	2,725	105%
	刈谷線	20,962	24,938	22,124	25,514	29,405	32,300	11,338	154%	2,895	109%
	全路線	258,881	240,255	179,539	222,272	247,412	255,658	△ 3,223	98%	8,246	103%

※JR武豊線の単位は乗車人数（人）、タクシーの単位は利用台数（台）、その他は利用者数（人）である。